

## 令和元年度事業実施分マニフェストの外部評価結果

当市は、マニフェストに記載された施策に係る各部局等における取り組みの達成度について、評価の透明性及び客観性を向上させるため、外部評価を実施しており、今回、池田市政2期3年度目の外部評価結果を公表します。



### ●マニフェスト評価委員

- 委員長 宮内 孝（みやうち たかし）氏（南九州大学 人間発達学部 教授）  
 副委員長 小山 大介（こやま だいすけ）氏（宮崎大学 地域資源創成学部 准教授）  
 委員 爲山 高志（ためやま たかし）氏（(財)みやぎん経済研究所 常任理事）

### ●令和元年度事業実施総合評価 **89.35**

- 平成30年度（2期2年目） 86.11  
 平成29年度（2期1年目） 82.90

【2期目】都城市マニフェスト評価委員会評価結果の推移（H29からR1に実施した事業）

	H29	H30	R1
<b>総合評価</b>	<b>82.90</b>	<b>86.11</b>	<b><u>89.35</u></b>
マニフェスト項目(大分類)ごとの評価結果			
1 輝きを増す3つの宝 (農林畜産業の振興)	85.67	86.67	90.33
2 輝きを増す3つの宝 (地の利の拡大)	83.33	85.67	86.67
3 輝きを増す3つの宝 (人間力あふれる子どもたちの育成)	82.67	84.33	88.33
4 重要施策の推進	83.00	85.44	88.43
5 市民サービスの更なる向上	80.67	84.67	88.67
6 対外的PRの更なる推進	84.33	90.33	95.00
7 特色ある取り組み	80.67	85.67	88.00

●マニフェスト7大項目に対する委員意見の一部紹介

①輝きを増す3つの宝 ～農林畜産業の振興（平均点数 90.33）

農畜産業の各振興事業は多分野で目標を達成し、目に見えた成果が表れている。特に、新規就農者支援事業やブランド力向上に関する事業、6次産業化関連事業の成果を高く評価する。

②輝きを増す3つの宝 ～地の利の拡大（平均点数 86.67）

都城志布志道路は、災害対応から企業立地まで「地の利」の拡大効果が極めて大きく、早期全線開通に期待。企業立地は、目標数を達成。既に当市の産業政策は次の段階へと達しており、「雇用の質」の向上、新規雇用者定着による市の人口増加に向けた相乗効果を期待する。

③輝きを増す3つの宝 ～人間力あふれる子どもたちの育成（平均点数 88.33）

継続的かつ戦略的な施策、そして市民による教育への熱意が着実に成果となって表れている。当市の持つ3つの宝の一つ「子どもたち」にとっての暑さ対策を喫緊の課題と捉え、小中学校空調整備事業を令和元年度に完遂したスピード感を絶賛したい。ALT、中学生・青少年交流等の事業は、地域の若者の国際感覚の醸成に多大な効果があり、一層の充実を期待する。

④重要施策の推進（平均点数 88.43）

医療費助成事業の充実は、安全・安心なまちづくりを実現する大きな一歩。また、住民相互関係が希薄化する中、地域活性化事業の意義は大きい。各地域自治組織による「取り組みの違い」や「質の課題」が存在していたが、地域の個性を活かした「特色ある取り組み」を実施。

⑤市民サービスの更なる向上（平均点数 88.67）

おくやみ窓口構築事業は、遺族の負担を軽減するための重要な取り組み。また、都城フィロソフィ推進事業は、職員が主体的にフィロソフィの作成に携わり、市民の満足度向上に向けた活動を継続。これらの取り組みには、長期的視点にたった活動の継続が重要。

⑥対外的PRの更なる推進（平均点数 95.00）

ふるさと納税推進事業は、市の財政への貢献に加え、地域経済への波及や当市の知名度アップなどに大きく貢献。ミートツーリズム推進事業などニーズに柔軟対応したことが奏功している。新型コロナウイルス感染症の障壁は大きいですが、引き続き柔軟且つ素早い対応を図って頂きたい。

⑦特色ある取り組み（平均点数 88.00）

友好交流都市締結20周年記念事業は良好な結果が得られ、中国及びモンゴル間の関係強化のためにも継続が必要。地区公民館建設事業は予算的な制約がある中、毎年度着実に建設が進められており高評価。今後も、当市のさらなる発展と市民サービスの向上、住みよいまちづくりのため、市民目線に立った施策の実施をお願いしたい。

【問い合わせ】 総合政策課 電話：23-7161（直通）